



「ロータリーは  
分かちあいの心！」  
2007-2008 年度 RI テーマ  
RI 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
第 2640 地区ガバナー 平原祥彰



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1530 回例会 20 年 5 月 25 日(日)




「家族例会」落語家と行くなにお探検クルーズ及び  
海遊館のバス旅行

1. 開会点鐘
2. ゲスト紹介 会員の奥様とご家族
3. 出席報告  
会員総数 69 名 出席者数 55 名 出席免除会員 1 名  
出席率 80.88% 前回修正出席率 80.30%

4. 会長スピーチ 会長 山名正一君  
こんにちは。本日、親睦委員会企画によります家族例会に会員始め御家族の皆様、ご参加いただきまして誠に有り難うございます。昨夜からの雨模様で心配しましたが天候に向かいつつあるようです。しかしながら今日は高速道路が閉鎖されているとのこと、時間の関係上スケジュールに変更が生じるかもしれません。兎に角大阪に向けて進みます。今日 1 日お楽しみください。

5. 幹事報告 幹事 上芝良造君  
○メーキャップ  
和歌山 RC 花畑重靖君 5/20 (火)  
○例会変更のお知らせ  
海南西 RC 6月19日(木) → 6月19日(木)  
19:00~ 「美登り」  
○休会のお知らせ  
和歌山東 RC 6月5日(木)  
○6月のロータリーレート

1 \$ = 102 円

6. 家族例会  
「落語家と行く」なにお探検クルーズ及び海遊館  
○スケジュール  
8:45 海南商工会議所出発   
10:15 海遊館  
12:00 ホテル大阪ベイタワー (昼食)  
13:15 遊覧船「なにお探検クルーズ」  
落語家:桂きん太郎さん 桂 吉弥さん  
17:30 海南商工会議所帰着  

### ○家族会の様子



魚谷委員長、ご苦労様!

桂きん太郎です。

桂 吉弥です。

いってきま〜す。

### 7. 閉会点鐘

#### 次回例会

第 1531 回例会 平成 20 年 6 月 2 日(月)  
夜間例会 海南商工会議所 4F 18:30~  
(誕生祝い・結婚祝い)

#### 四つのテスト

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 山名 正一 幹事: 上芝 良造 SAA: 上野山 雅也



ROTARY INTERNATIONAL  
THE ROTARY FOUNDATION

## シェルターボックスとロータリアンが、 中国の地震被災者を救援

シェルターボックスより送られた400箱の救援物資が、今週末、中国の四川省に届く予定です。四川省では、5月12日に発生した地震により、5万人が死亡、5百万人が家を失い、生存者は深刻な状況に置かれて



ライフボックスの倉庫を訪れる英国、マンチェスターの龔建忠中国総領事。四川省の地震救援のために、救援物資100箱とライフストロー（浄水用具）1,200個を受け入れました。写真提供：デントン・アンド・オーデンショー・ロータリー・クラブ

います。救援物資は、このような状況下にある被災者を援助するために送られたものです。現在、別の400箱の救援物資が四川省に送られている途中です。

各ボックスには、テント、コンロ、浄水キット、道具、その他の必需品が収められており、家族10人が半年間生活できるようになっています。イギリスを拠点に活動している災害救援団体、シェルターボックスは、世界中のロータリー・クラブから支援を受けています。中国政府の要請を受け、シェルターボックスは、さらに1,700張のテントを供給することを約束しています。中国当局は、テントが緊急に必要とされていることを国際社会に訴えています。都市部の避難民の多くが、スポーツ競技場や一時しのぎのテントなど、ありとあらゆる場所で寝泊りをしています。

シェルターボックスの救援チームの3人が、四川省の省都である成都に赴き、救援物資の配給を助けています。英国、マンチェスターのデントン・アンド・オーデンショー・ロータリー・クラブの慈善プロジェクトの一つであるライフボックスもまた、四川省で災害救援を行っています。必要器具、衣類、毛布、乳児用品、ライフストローと呼ばれる浄水用具が入ったライフボックス100箱とともに、さらに1,200個のライフストローが四川省に送られました。

一方、中国側では、シェルターボックスやライフボックスのような団体が災害地域に赴き、救援物資の供給が許可されるよう、現地のロータリー・クラブが中心となり手配を行っています。

被災地から1,400キロ以上離れた北京ロータリー・クラブは、現在、地震救援プロジェクトとして、被災地で配給するため、4千米ドル分の粉ミルクの購入を検討中です。また、募金活動も行っており、北京ロータリー・クラブの会員は、地震が発生した翌日の

クラブ例会で千米ドル以上を地震救援のために寄付しました。マイク・マ・クラブ会長によると、李東建 RI 会長エレクト出席予定の来週の年次慈善



舞踏会で集められる寄付の一部も、地震救援に使われるとのことです。「中国赤十字との協力による地震後の心のケアを扱うプロジェクトと被災地復興プロジェクトについても既に話し合いが進められています」とマ・クラブ会長は話します。「さらに、長期的で大規模な復興プロジェクトについても検討中です」

LifeBox  
Latest News and Updates Donate Order a Box  
Donation to LifeBox - Help Us Now! Shopping cart

ライフボックスの寄付 <http://www.life-box.org.uk/node/22>

## ミャンマー被災地に シェルターボックスが到着



大型サイクロン「ナルギス」がミャンマーのデルタ地帯を直撃してから約2週間後の5月16日、救援物資の詰まった1,050箱を積んだ飛行機が、英国からヤン

ゴン空港に到着しました。この飛行機は、世界中のロータリー・クラブが支援する草の根の災害救援団体、シェルターボックスのチャーター機でした。コーンウェル州を拠点とする同団体は、5月3日、13万4千余りの死者と行方不明者を出したミャンマーに出国許可が最初に下りた外国救援団体の一つです。5月8日よりヤンゴン入りした英国のシェルターボックスからの4人のチームが、すでにテント、蚊帳、器具、浄水用タブレット、その他の必需品の入ったシェルターボックス644個の配達作業を行っている中、ボーイングDC-10型機に乗って支援にやって来たのは、英国チームに手を貸そうという2人のアメリカ人ボランティアでした。チームは、地元の関係当局と協力し、最も被害の大きかった遠隔のデルタ地帯、イラワジに救援箱を届けるため、飛行機からトラックへと荷を積み作業に当たりました。チームは先週からヤンゴン当局と密接に協力し、被災地に物資を届けているとのこと。シェルターボックス・チームの活躍は、物資の配達だけにとどまるものではありません。消防・非常事態に携わる現地の人々を対象に、シェルターボックスに入っている物資の使い方やテントの張り方を教える指導者の訓練も実施しました。